

第 17 章 労働市場均衡と一般均衡 練習問題

1. 企業が利潤最大化の結果としてどのように労働需要をするか，数式と図解を用いて説明しなさい。
2. 労働者が労働の不効用を最小化する結果としてどのように労働を供給するか，数式と図解を用いて説明しなさい。
3. 短期的に貨幣賃金率が硬直的な場合には，労働供給曲線がどのように修正されるか，図解を用いて説明しなさい。
4. 価格や賃金が伸縮的な場合，労働市場の均衡がどのように達成されるか，図解を用いて説明しなさい。その均衡はなんと呼ばれるか，述べなさい。また需給不一致がある場合には，実質賃金率の調整により不一致がどのように調整されるか，図解を用いて説明しなさい。
5. 価格が伸縮的でも賃金が硬直的な場合，労働市場の均衡がどのように達成されるか，図解を用いて説明しなさい。その均衡はなんと呼ばれるか，述べなさい。また需給不一致がある場合には，マーシャル的な数量調整により不一致がどのように調整されるか，図解を用いて説明しなさい。
6. 古典派の一般均衡体系を，5 個の未知数と 5 本の方程式で説明しなさい。
7. ケインズの一般均衡体系を，4 個の未知数と 4 本の方程式で説明しなさい。
8. ケインズの一般均衡体系がベナシーなどの固定価格モデルとどのように違うのか，説明しなさい。
9. 古典派理論とケインズ理論とでは，貨幣保有動機や貨幣理論でどのように違うのか，説明しなさい。
10. 古典派理論とケインズ理論とでは，金融政策の効果波及経路にどのような違いがあるのか，説明しなさい。
11. 古典派理論とケインズ理論とでは，生産物市場と貨幣市場の分析にどのような違いがあるのか，説明しなさい。
12. 古典派理論とケインズ理論とでは，国家観や政策観がどのように違うのか，説明しな

さい。